

気候変動枠組条約第25回締約国会議(COP25)参加報告



2019年12月2日から13日にかけて、スペインの首都マドリッドにおいて気候変動枠組条約(UNFCCC)第25回締約国会議(COP25)が開催されました。RESTECは、欧州宇宙機関(ESA)、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立環境研究所(NIES)、及びワーゲニンゲン大学と共同でセミナーを企画・提案し、UNFCCCに公式に認められたイベントとして開催しました。本イベントでは、衛星による「大気中の温室効果ガス観測」及び「森林バイオマスの推定」という2つのテーマを取り上げました。温暖化対策の進捗に関する棚卸しである「グローバル・ストックテイク」に向け、IPCC※1から衛星への期待が高まっていること、モンゴルでは衛星利用に向けた具体的な取り組みが始まっていること、日本では様々な観測機器によるデータの統合

を目指していることなどを紹介しました。そして、より多くの国が衛星データ利用への一歩を踏み出せるよう促し、利用をサポートするため各国宇宙機関はデータ提供体制を協力して構築していることを伝えました。

また、文部科学省、環境省、JAXA、及びNIESの共催により、COP25日本パビリオンで開催されたサイドイベント「温室効果ガス排出量削減政策に貢献する衛星観測」では、RESTECソリューション事業第一部の亀井が司会を務めました。本サイドイベントでは、衛星による大気中の温室効果ガスの観測に焦点を当て、NASAの研究者やモンゴルの気候変動特使も交えた議論を行いました。



RESTECはUNFCCCの公式展示にもブースを出展し、大気・陸域・海域の3つの領域における地球観測衛星の技術、及び観測されたデータの紹介を行いました。このブースもJAXA及びNIESとの共同で出展・運営を行い、2日間でおおよそ200名の方を集めました。これらサイドイベント及び展示ブースを通じ、気候変動分野における衛星の貢献可能性について多くの方々にご理解いただきました。RESTECは、我々の持つ技術を通じて、今後も気候変動に関する様々な対策や研究への貢献を進めて参ります。

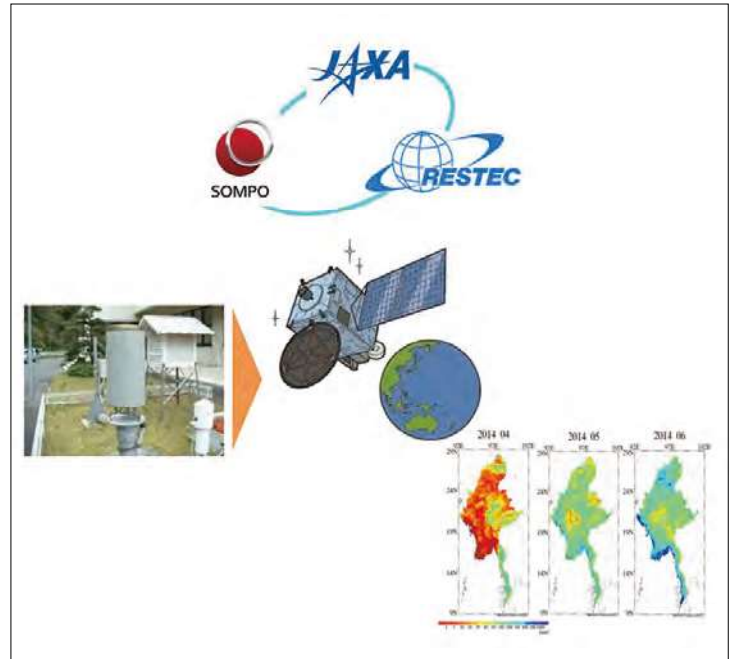
※1 気候変動に関する政府間パネル

SDGs 達成に向けたRESTECの取り組み (農業ファイナンス向け情報サービス)

RESTECは海外農業従事者の生計を下支えする保険サービス一つである「天候インデックス保険」向けの衛星情報提供を行っております。「天候インデックス保険」とは、損害と関係がある、天候指標(気温や降水量など)を定め、それが事前に定めた条件を満たした場合に、定額の保険金が支払われる保険です。実際の損害とは関係なく、天候指標ベースでの保険金支払いとなるため、保険金支払いの際に損害調査を要せず、シンプルかつ安価なサービスを提供できます。

RESTECは、SOMPOグループ様との協業により、ミャンマーにて干ばつ被害補を行う天候インデックス保険向けに、JAXAの「GSMaP」を用いた雨量情報の加工・提供を行ったことを皮切りに、多くの事業にサービス提供しております。2019年からはタイにおいて、果樹向けインデックス保険サービスが正式にローンチしました。(SOMPOタイランド社提供)

この農業ファイナンス事業向け情報サービスの開発・展開を通じて、自らの事業基盤の拡大を図ると同時に、SDGs(持続可能な開発目標)の達成への貢献することを目指し、さらに活動を発展させていきます。



埼玉県比企郡嵐山町との災害時に備える協力活動に関する協定の締結



さる令和元年11月7日、埼玉県比企郡嵐山町(町長 岩澤勝)と一般財団法人リモート・センシング技術センター(理事長 池田要)は、嵐山町での災害時に備える協力活動に関する協定を締結しました。

本協定は、災害時に最優先で人工衛星や無人航空機により観測した画像データを嵐山町に提供することで被害状況の迅速な把握や円滑な対応への支援を行うとともに、被災前の画像データについても人工衛星等により日常的に収集を行うものです。

収集された衛星データは、防災減災目的だけでなく家屋調査や農地の不正転用監視等にも活用可能で、嵐山町の業務に有用なものになると考えます。今回の協力協定締結は、財団の周辺自治体に対する衛星データ活用を推進する取組みに対し、嵐山町に積極的に対応頂いたことより実現したものです。

今後財団は、本協力協定の締結を皮切りに周辺自治体との連携をより積極的に行い、衛星データを用いた社会貢献を目指し活動して参ります。

■ 編集後記 RESTEC News 本号では国際的な取り組み2点を含む社会貢献活動についてご紹介いたしました。RESTECは、今後も衛星データを利用した環境への貢献、リモートセンシング技術を活用したソリューションの提供によるSDGs達成への貢献など幅広く活動を行ってまいります。



ホームページ



Facebook